

情報連絡一覧票

( 北海道中央会・平成29年9月分 )

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製	食品	水産食料品	・地方で人手不足状況が強まりつつある。 (全道)
		水産食料品	・今年度の塩数の子の生産量は9月末現在で107%と増加傾向にあり、近年に無い状況となっているが、このまま10、11月を乗り切りたい。 (留萌)
		水産食料品	・鮭、サンマ、イカなどの不漁に伴い、原料不足、操業効率の低下と魚価高によって経営が圧迫されている。 (網走)
		めん類	・10月から小売(輸入小売)の価格が値上がりとなるが、製品への転嫁はできず、利益が減少することになる。 (全道)
		味噌・醤油	味噌出荷量(道内):単月(29年8月)前年対比94.8% 醤油出荷量(道内):単月(29年8月)前年対比88.6% ・8月単月(道内)の出荷量は味噌、醤油とも前年割れで、相変わらず醤油の出荷量が特に悪い。 ・1月～8月の道内累計出荷量も、前年対比で味噌93.9%、醤油で89.0%と悪い。これからの出荷増に期待したい。 ・原料米である特定米穀、外国産米ともに価格が上昇。悪い条件が目立っている。 (全道)
		水産食料品	・原料、運賃ともに15%～20%上がり、収益は落ち込んでいる。 (函館)
		飲料	・9月は昨年のような台風による被害も少なく、天候にも恵まれたことから、微かに売上が増加したようである。 ・10月1日よりヤマト運輸が運賃の値上げを実施したことから、他の運輸業者も追随する動きを見せており、同じく1日より実施された最低賃金の値上げもあり、更なるコストアップの増加が懸念される。 (全道)
製	木材・木製品	一般製材	・カラマツ、エゾ・トドマツともに、製材及び原木の市況は先月と変わらず保合。カラマツは入荷はあるが、受注が増えて、一部地域では在庫に不足感がある。エゾ・トドマツは在庫はほぼ確保できているが、小径木は未だに不足が続いている状況。 ・カラマツの梱包材等の動きは先月と変わらず。注文量は2～3週間程度(オホーツク) ・カラマツ製材の受注は例年並みで推移しているが、その中で大断面のラミナの需要が増加(十勝) ・エゾ・トドの荷動きは順調。価格は変わらず(オホーツク) ・現在も小径材不足で、中径材を使用することで原料単価が上がっている状況にある。製品価格の値戻しが必要。 ・これまでも木材業界では原木高の製品安と言われており、原料価格にあった製品価格にする必要がある。 (全道)
		一般製材	・秋の農産物の収穫がピークを迎え、トラック不足と人手不足が深刻な状況である。 (幕別)
造	紙・紙加工品	加工紙	・前年同月と大きな変化はない。 (全道)
	窯業・土石製品	生コンクリート	・9月の生コン出荷量は387千㎡で、前月比は12.6%減少、前年同月比は5.7%増加となった。 ・地域別では、前年同月を上回った分会(協組)は29分会(協組)中、17分会(協組)で前年(増加は16分会(協組))を上回った。前年同月と比較して増加したのは日高、北見地方、道央など。一方で、減少したのは南北海道、札幌、留萌地方などであった。 (全道)
		砕石	・十勝地域では災害復旧工事により、路盤材用砂利の需要が増加している。 (全道)
		砕石	・9月度の出荷数量、売上高については、生コン用は前年並みであったが、路盤用では上下水道関連・外構工事などでアスファルト合材用ともに前年対比増加した。 (札幌)
		砕石	・安定供給に努めている。 (帯広)
	鉄鋼・金属	鉄鉄铸件	・自動車は前年並みで、建機・農機部品は良かった。特殊鋼品はやや悪く、水道資材やマンホールはやや良かった。 ・铸造用副資材の高騰がみられる。 (全道)
		金属製品	・海運市況の低迷が続く、新造船市況の回復には至っていない。海運大手は新造船の発注を当面見送りが続いている。市況の回復及び受注量の増加が見込めるまでの期間は、室蘭で製作の函館造船所向けブロック製作の減量と人員削減をおこなってコスト削減を図る(現在は1,000トン/月製作を1月から700トン/月に減らす、さらに室蘭と函館の輸送回数も減らす)。修繕船技術者に続き、新造船技術者も過剰人員が発生し、厳しい状況が続く。 (室蘭)
業			

一般機器	金属工作機械	・印刷関連で総選挙の特需が少しあるが、時間がなく、量も少ない。 (札幌)
	金属工作機械	・昨年度と比較すると、受注数も操業度も若干減少している。どの企業も夏以降じわじわと受注数が減ってきているため、今後の動向を心配する。 (江別)
	金属工作機械	・金属加工は引き続き順調で、本州大手からの受注は単価も引き上がる。技能士資格を持つ企業は受注が多いが、人手が足りず、断る状況が続いている。 (旭川)
その他製造業	置	・9月は余り動きが無かった。10月から年末にかけて多忙になる予想である。 (函館)
	家具	・先月同様、売上の伸び悩み傾向は脱却できず、引き続き下半期の動向が大変気になるところ。各企業の努力も必要であるが、地方の景気対策など新たな一手に期待する。 (旭川)

卸売業	各種商品	・売上の増減にはバラつきが見られるが、減少との回答がやや多い。事務機器・医療機器等は増加傾向で、一般消費財は減少している。収益状況も同様の傾向となっている。 ・卸団地は全国的に築50年を超過し、建物・設備の老朽化対策が課題となっているが、当団地においては1棟の高層ビルへの集約化という再整備計画が具体化しつつある。年明けには一部解体工事がスタートする予定である。 (札幌)
	各種商品	・十勝農業では収穫シーズンを迎えている。一部には収穫遅れはあるもの、主要作物の小麦やジャガイモなどは良好のようである。 ・中央会十勝支部（事務長会）の研修旅行（10/5～6 1泊2日 函館方面）に参加した。昨年実施予定だったが、台風災害で主要道路が不通となり、2年越しの実施となった。 ・昨年夏の台風以来通行止めとなっていた日勝峠が、関係者の努力により今月末までに復旧の目途がついた。これで物流の流れ（十勝から）も良くなる。 (帯広)
	野菜・果実	・引き続き人参が安値である。 ・9月は1,750トン程度の出荷抑制（自主調整）と、生食用を加工向けに15トン転用する緊急需給調整（制度事業）を実施した。大規模な緊急需給調整を実施した系統出荷団体に対し、当組合は生産者の理解が得られず、僅かな数量にとどまってしまったが、この調整実施後には、価格は少しばかり上向きとなった。 ・但し、低迷を脱したとは言えない状況が続いている。 (全道)
	菓子	・菓子の需要が伸びる季節に入ったが、前年に比べてやや落ちついた商況となっている。価格は前年と比較すると下落している。高価格帯の商品も増えているが、その分価格差は大きくなっており、二極化している。 (全道)
非	各種商品	・前月に続き時計、貴金属、メガネ、生活雑貨、パソコン等家電品は好調さを維持しており、一部大型店、ホームセンターを含む生活・住宅関連と自動車関連も続伸した。9月は1件単価が低下した業種が増え、消費マインドはまだ慎重かと思われる。 (札幌)
	各種商品	前年比較 物販見込：97.3% 金融：95.5% ・昨年は西武デパートの閉店セールが最終月で、前年比111.6%という特需要因があったので、前年との比較では減少となったが、大型ショッピングモールの売上げを中心に、食料品・登録型売上げの好調により、大きな落ち込みとはならなかった。収益では、設備投資費用の増加と金融売上げが減少しているため悪化となった。 (旭川)
	各種商品	・夏から秋へと季節は移り、行楽シーズンとなった。仁木・余市方面への果物狩りツアーのバスが毎日のように立ち寄り買い物をしてくれる。多いときは3～4台のバスが同時に入ることもある。本州方面からのツアー客もあり、売上増につながっていると思われる。 (小樽)
	各種商品	・9月取扱高は前年比103%の状況。台風18号にて伊達・壮瞥地区の一部でビニールハウス損壊やリンゴ収穫に影響が発生したが、それ以外では天候に恵まれ、各地域での消費は平年並みの状況。 ・今年の観光地はレンタカー利用による観光客が増加しているように感じる。 ・これからの冬支度商戦に期待したい。 (苫小牧)

各種商品	<p>・9月の各組合員の状況について 報道等では景気の基調判断が「持ち直しが続いている」から「着実に持ち直している」に上方修正したとあるが、各組合員からは、釧根地域においては相変わらず厳しい状況が続いているとの声が多く、特に衣料品関係の組合員が多く感じた。</p> <p>・(株)日専連釧路の9月の取扱高について 9月の取扱高については全部門（カード部門・キャッシング部門・個品ローン部門）において前年を上回る結果となった。特にカード部門においては上半期連続で、好調を維持している。 (釧路)</p>
各種商品	<p>・函館市では自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」や「全国レクリエーション大会」などのスポーツイベントが開催され、また、例年大盛況である道南最大の食の祭典「はこだてグルメサーカス」が今年は9月2・3日（土・日）で開催され、好天にも恵まれて入場者数は2日間で延べ23万9千人のお客様にご来場いただき、全国の名店の味を楽しんでいただけたようである。特に今年は観光面で連携を進める秋田県北地区から特別ブースとして秋田犬8頭が登場し、イベントの盛り上げに一役買っていたようである。</p> <p>・また、3日には「函館朝市市民感謝祭」を同日開催し、今年は例年一番好評の即売会に特化して、浜ゆで毛ガニや活ホタテ、北洋産紅鮭やホッケ、そして野菜の詰め合わせセットを、どれも500円のワンコインで数量限定販売し、開始わずかですべて完売となった。その他、元プロ野球選手でタレントのパンチ佐藤氏のスペシャルトークショーや、カニ・海産物・農産物・御食事券などが当たる大抽選会も実施し、普段あまりお越しいただけていない地元のお客様を中心に、ご家族で楽しんでいただいた。今後も地域に根ざしたより良い取り組みを実施していきたい。</p> <p>・函館市水産物地方卸売市場から、9月の生鮮スルメイカ取扱量が前年同月を112トン上回る1.4倍の392トンと発表があったが、通期ではまだまだ値も高く、数量自体も依然として少ないようで、いまだ喜べない情勢が続いている。 (函館)</p>
燃料小売業	<p>・業界全体で、人口減少による売上数量の減少がみられる。</p> <p>・売上金額は、仕入価格の高騰に伴い、増加傾向にある。</p> <p>・仕入価格の高騰により、在庫数量も増加し、安売り量販店との競合や燃費の良い車の増加により、販売数量は減少傾向にある。 (稚内)</p>
燃料小売業	<p>・ニューヨーク市場のWTI価格は9月1日47.29でスタート。先月末から若干の反発で推移したが、9月に入って主要製油所の操業再開による好感で、ドル安進行の割安感で原油買いによる反発があり、一時52ドル台まで上昇するも、米国原油在庫の増加で反落し、9月29日には51.67ドルとなった。</p> <p>(組合員情勢)</p> <p>・小売店の卸価格も9月は大きく値上げ改定があり、10月に入って小売価格が改定の動きとなった。しかしいつもの如く量販店の影響を受け、従来同様安値価格から適正価格に及ばず、利益単価圧縮で前年・前月と同様厳しい経営を続けているSSが多い。 (旭川)</p>
自転車・自動車	<p>・今年度の自転車の販売はほとんど終了気味である。除雪機、ストーブの点検が始まっている。 (全道)</p>
各種食料品	<p>・この季節の魚である鮭、サンマなどの入荷が少なく価格が上がり、魚屋としての旬が厳しくなっている。鮭の輸入物も価格がかなり上昇して、利益が取れない状況である。料理メニューの提案として、お客様が買いやすく、食べやすい方法が必要と思われる。 (札幌)</p>
野菜・果実	<p>・売上高は対前年同月比17%増加。インスタントコーヒー、ドレッシングなどの嗜好品の売れ行きが好調に推移した。 (札幌)</p>
鮮魚	<p>・秋刀魚、鮮イカ、秋鮭、魚卵（生筋子）等の不漁により、加工用原材料の不足と高騰により、集客数・各単価が減少している。</p> <p>・9月の観光客動向については、クルーズ船の寄港が台風の影響で3回抜港されたことで、大きく減少した。 (釧路)</p>
燃料	<p>・9月に入り原油の値上がりが始まった。自動車油については、市況の立て直し、その後崩れる、また立て直しと不安定な動きをしている。しかしながら仕入れ価格は上昇に転じている。暖房油については、秋季暖房油の入札が行われたが、安売り合戦の様相の入札となった。とても再投資可能な商売とは言い難い低価格である。このようなことから石油業界に明るい将来を見出すことが出来なく、後継者不足、人手不足と相まって廃業が増えると思われる。 (岩見沢)</p>

造

業

	燃 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油価格の乱高下が続いているが、卸価格が上がっている時も、末端市場においては低価格競争の激化傾向の影響を受け、安値市況が広範囲に拡大しているなど、地場中小零細企業の経営を圧迫している状況が見受けられる。</li> <li>・散発的に市況の修復地区が出てきているものの、店頭マージンの低位傾向が続いている。さらに、低燃費車に乗り換えた顧客が一層目立つようになり、危機感をあらわにする販売業者も多い。</li> <li>・先行き需要等の影響もあり、廃業・撤退の選択を迫られる業者も増加しているが、特に相当年経過した地下タンクを保有している事業者にとっては廃業を見据えた厳しい選択をせざるを得なく、従業員の雇用問題を含め、極めて厳しい状況が窺える。</li> </ul> <p>(全道)</p>									
	電 気 機 械 器 具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の道内家電販売は天候不順により、季節商品が全体的に低調である。4Kテレビは有機ELテレビが4メーカーから発売され、台数は少ないが金額が伸び、業界に活気をもたらしている。家電業界の公正競争規約が小売業界に定着し、業界の安定に貢献している。</li> </ul> <p>(全道)</p>									
	中 古 自 動 車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店により差はあるが、小売はそこそこ好調のようである。また、信販などの商品であるリースが好調のようである(月々1万円で見積りできる、など)。</li> </ul> <p>(札幌)</p>									
	農 業 用 機 械 器 具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月と変わらない。</li> </ul> <p>(全道)</p>									
商 店 街	各 種 商 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤丸百貨店の8月売上高は4億4,800万円(前年同月比2.3%増)で、3ヶ月連続前年実績を上回った。市内大型5店の8月売上高は、16億2,500万円(前年同月比0.6%増)で、3ヶ月連続前年実績を上回った。スーパー3社の8月売上高は33億9,700万円(前年同月比1.5%減)で、野菜の相場安などが影響した。中心部への新たな管外チェーン居酒屋がオープンする一方で、大手チェーン居酒屋が9月末で閉店するなど、開店・閉店が続いている。</li> </ul> <p>(帯広)</p>									
サ ー ビ ス 業	公 衆 浴 場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しばらく廃業した施設がなかったが、残念ながら札幌で1施設が建物の老朽化などの理由で廃業した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>組合員</td> <td>全道</td> <td>うち札幌</td> </tr> <tr> <td></td> <td>161</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>9月廃業</td> <td></td> <td>-1</td> </tr> </table> <p>(全道)</p>	組合員	全道	うち札幌		161	43	9月廃業		-1
	組合員	全道	うち札幌								
		161	43								
9月廃業		-1									
ソ フ ト ウ ェ ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内のシステム受託開発企業の多くが9月末で半期決算を迎えた。相変わらず首都圏からの開発案件需要が堅調に増加して、増収で半期を終了したIT企業が多い。ただ、技術者の派遣料金や受託単金は上昇したものの、従業員の賃金の上昇や採用経費、職場環境の改善などの、コスト増が利益を押し下げて、期待通りの利益確保には至っていないといった中小IT企業経営者の声が聞こえてきている。</li> <li>・学生の18年度就職内定率が9割を超えて、リーマンショック前の水準まで高まったとの報道があるなど、企業業績の改善や少子化による空前の売り手市場によって、十分な採用数を確保できない企業が多い。道内特に札幌の中小IT企業でも新卒採用活動は予定数に届かず、10月2日の内定式以降も採用活動を続ける企業が多い。</li> <li>・AIやあらゆるものがネットにつながるIoTなど、第4次産業革命は企業の人材育成にも変革を迫っている。AI、クラウド、IoT、ブロックチェーンやセキュリティ技術を身につけた人材が要求される時代になってきた。従来は仕事を通じて技能を高めるOJTが一般的だったが、AIなどは職場に教えられる人材が乏しく、従来の延長線上にはない知識や技術を体得する教育が必要で、道内IT企業の経営者が人材育成上で抱える悩みは、人材不足もさることながら、今や一変する知識・技術に対応できる技術者の育成である。昨今、札幌市内に本社や開発拠点のある企業が共同で先端技術の研究開発や技術研修に取り組む団体を設立したり、札幌市が北大や地場のIT企業と一体で「札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム」を立ち上げるなど、産学官での技術開発や人材育成への取組みが活発になりつつあり、各方面から注目されている。</li> </ul> <p>(全道)</p>										
旅 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の十勝川温泉宿泊入込数は、一部ホテルの整備により部屋の稼働率は低下したが、30,250人で、全年度比+5,156人、120%増加となった。</li> <li>・観光客は道外は昨年比で125%増加、インパウンドは昨年比で141%増加した。</li> <li>・昨年は台風被害後の風評被害を受け、15,000人のキャンセルが発生した。昨年を加味すると、今年は平成27年度入込数と同等と思われる。</li> </ul> <p>(音更)</p>										
	電 気 工 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月同様、各物件工事が活況となっており、人手不足感が増している。この状況は年末まで続く見通しである。各工事量は昨年度より多くなっているようである。</li> </ul> <p>(全道)</p>									

建設業	左官工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界として繁忙期を迎え、ここに来て人材不足が顕著となっている。(札幌)</li> </ul>
	管工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員の業況 9月に入り天候にも恵まれ、受注した工事が順調に進捗している。近隣町村の工事の受注もあり、新築住宅も適度にあることから仕事が切れない状況が続いている。</li> <li>・問題点 慢性的な人員不足から修繕工事に手が回らない状況がまだまだ続いている。</li> <li>・地域の実情 土木・建築・設備工事等の発注が出そろった。土木工事に関しては全体的に少ないが、国の補正予算が今回の総選挙の結果でどうなるのか注目している。(名寄)</li> </ul>
運輸業	一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の出来が良すぎて価格が下落しているため、出荷を抑える傾向になったようである。全体的に動きが良化していると思われる。(昨年が悪すぎたため)</li> <li>・燃料が上がり続けているため、経費は増加している。(小樽)</li> </ul>
	一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に比べ、農産物の動きが悪い。</li> <li>・燃料単価も昨年同期比12.5%程度上昇し、10月も燃料値上げが想定され、昨年から見ると徐々に収益を圧迫してきており、今後の燃料価格動向を注視している。(札幌)</li> </ul>
	一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱野菜は昨年と同量の地域もあるが、産地によっては減少している地域もあり、例年ベースまでとはなっていない。馬鈴薯は順調だが、タマネギは小玉傾向と市況の悪化が続き、出荷も悪い。</li> <li>・一般カーゴの動きについては例年並みまで回復してきている。北海道発着の貨物は昨年同様であるものの、一部車輛の偏りがみられる。</li> <li>・域内輸送も、道外輸送同様流通量は増加してきたが、飲料関係はダウンしている。公共工事を含め、資材などの動きが若干良化している傾向にある。(石狩)</li> </ul>
	一般乗用旅客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は前年同月比 3.4 %減少</li> <li>・乗務員数は前年同月比 5.6 %減少</li> <li>・8月分チケット取扱高は前年同月比 0.2 %減少(旭川)</li> </ul>

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
製造業	木材・木製品	一般製材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料の丸太が安定的に供給される体制づくりを望む。(全道)</li> </ul>
	窯業・土石製品	生コンクリート <ul style="list-style-type: none"> <li>・景気対策として、公共事業費の継続的な確保、住宅投資・設備投資等への刺激策の実施及び北海道新幹線札幌延伸工事の工期短縮等。</li> <li>・生コン工場の集約化を推進するための積立金の課税免除等税制措置の創設。(全道)</li> </ul>
	一般機器	金属工作機械 <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊原子力発電所の早期稼働。</li> <li>・雇用対策（人を募集しても応募がないため）に係る補助金説明会</li> <li>・中小企業向け、停電時に対応する設備投資に係る補助金事業</li> <li>・外国人研修制度改正に伴う説明会</li> <li>・BCP策定に向けての補助金事業(江別)</li> </ul>
非製造業	小売業	各種商品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月6日に開催された設立総会で「おでかけ推進協議会」が無事発足された。今後は、まずは実施回数を高め、実績基盤を構築させ、また受入拠点の創出や各コンテンツの充実により、プラットフォームの価値向上を図り、そして、IT化によるヘルスケアプロジェクトの実現に向け注力したいので、各機関においては可能な限りバックアップを望む。(函館)</li> </ul>
	商店街	各種商品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・景気の後退を回避するため、積極的な経済対策を講じてほしい。(帯広)</li> </ul>
サービス業	旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道東道の「オサルシPA」スマートインターの早期実現。</li> <li>・昨年の台風被害の復旧工事の進展、十勝川流域の流木処理。(音更)</li> </ul>